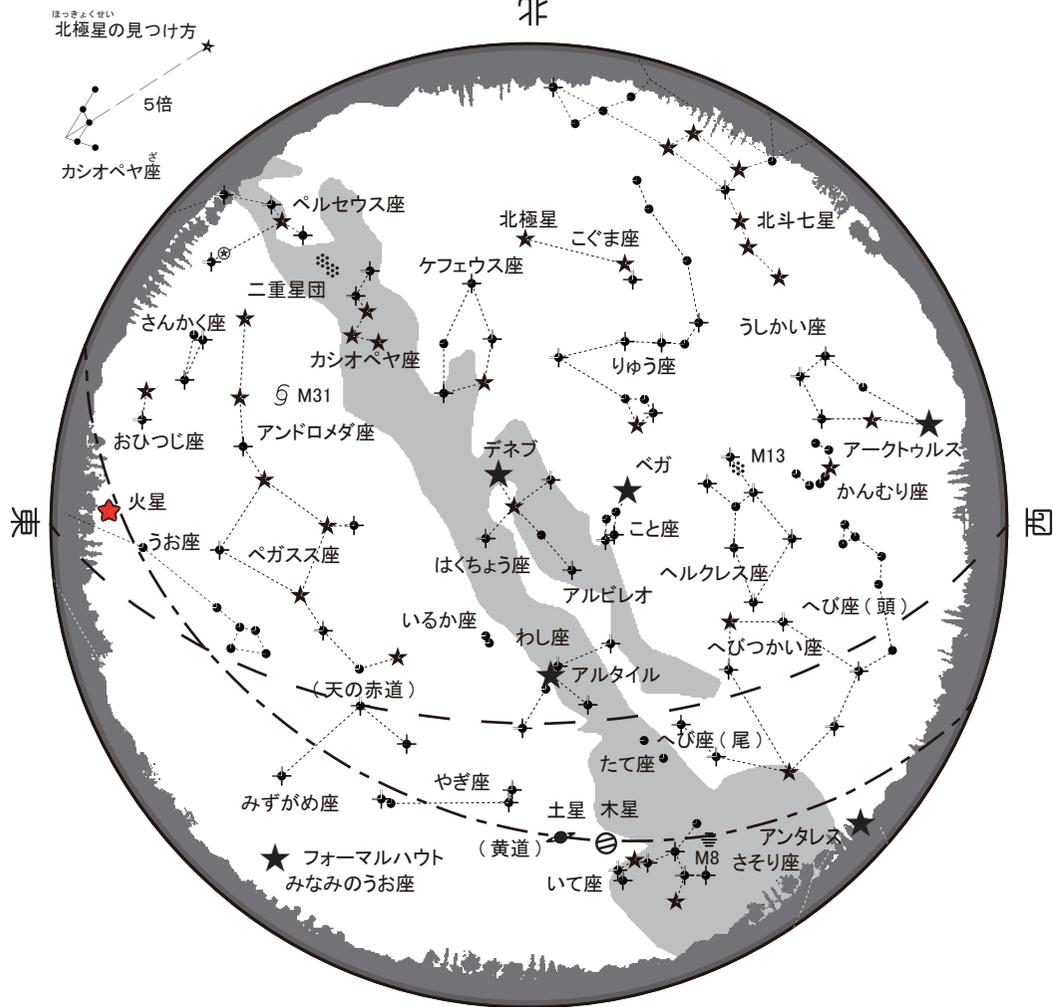


富山で見える 2020年9月の星空

自分の見たい方角を下にして、その方角の空を見てみよう。

北

南



- ★ 1等星と、より明るい星
- ★ 2等星
- ✦ 3等星
- 4等星と、より暗い星
- ◎ 変光星
- ※ 星団
- ☁ 星雲
- ☾ 銀河

～この星空が見えるのは～
 9月 5日 午後9時ころ
 9月 20日 午後8時ころ
 10月 5日 午後7時ころ

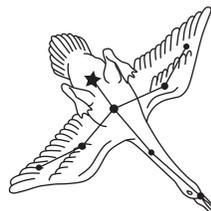
～月のようす～

9月 2日 満月 ○
 9月 10日 下弦 ●
 9月 17日 新月 ●
 9月 24日 上弦 ●



こと座

夏の星空で一番明るい恒星のベガが目印です。ベガは七夕のおりひめ星です。ベガの東側には望遠鏡で見ると二重星が2つ並んで見える「ダブル・ダブルスター」という星があります。また、この星座にはドーナツのような形をした星雲（リング状星雲）もあります。



はくちょう座

夏の大三角の一つである一等星デネブが目印です。この星をしっぽにして、天の川の上できれいな十字の形をつくっています。くちばしの星はアルビレオといい、肉眼では一つの星に見えますが、望遠鏡で見るとオレンジ色と青色の2つの星に見えます。



わし座

七夕のひこ星であるアルタイルが目印です。アルタイルとは「飛ぶワシ」という意味で、とりにある2つの星とともに一直線に等間隔で並んだ3つの星の並びを飛んでいるワシに見たてたそうです。

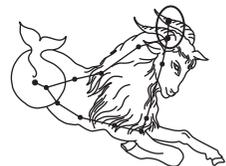


いて座

南の空低くにいて座があり、ここは天の川の一番明るいところで、天の川銀河の中心方向です。いて座で見つけてほしいのは、「南斗六星」。そこから星をたどると、半人半馬のケイローンが弓を射る姿になります。

やぎ座

やぎ座は、暗い星をつないでできる逆三角の形をしています。ベガとアルタイルを結んで南東へたどると、逆三角形の右かどの二つの星が見つかります。これが太い角の生えたヤギの頭です。上半身がヤギ、下半身が魚の姿を想像してみましよう。



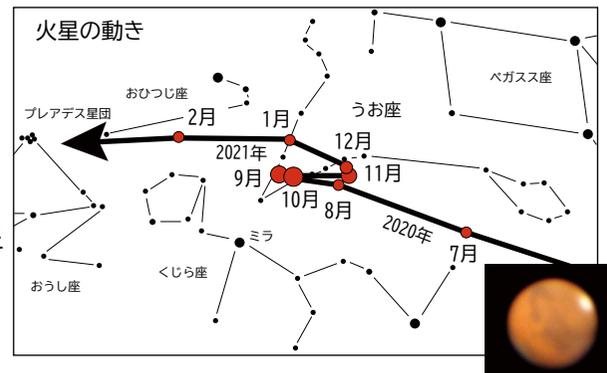
夏・初秋の星座の見つけかた



- 1 頭の真上近くに、とても明るい、こと座のベガを見つけます。ベガとわし座のアルタイル、はくちょう座のデネブでつくる「夏の大三角」を見つけます。近くにある、「や座」「いるか座」も見つけてみましょう。
- 2 南の空にとても明るい木星、その左には土星がかがやいており、この近くにて座があります。いて座の中にあるひしゃくの形をした「南斗六星」から、いて座の星の並びを見つけます。
- 3 ベガとアルタイルを結んで南東へのばしたところに、ゆがんだ逆三角の星の並びの「やぎ座」を見つけます。

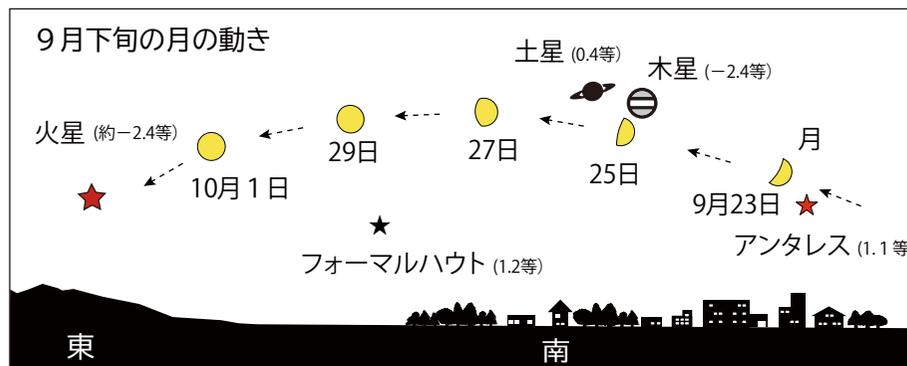
今年の秋は、火星の観察絶好機！

宵のころ、東の空に赤い惑星「火星」が姿を見せています。うお座の星々の間を日に日に動いていた火星ですが、9月に入るとその動きが小さくなり同じところにとどまるように行ったり来たりします。このような動きは地球と火星が接近するよう(せつきん)な時におこります。10月6日に(さいせつきん)最接近するので、明るさも増しています。最高で(ま)-2.6等の明るい火星のかがやきは、ひときわ目を引くことでしょう。



月が木星、土星、火星に接近！

宵の南の空では、木星と土星が並んでかがやいています。9月下旬には、この2つの惑星の近くに月が見られます。最も近づくのは25日(じょうげん)で、上弦を過ぎたばかりの月が木星の南側でかがやきます。その後、日に日に月は木星・土星の左の方へ大きく動きます。毎日の月の動きの大きさを実感できるでしょう。



(午後8時ごろ)